

手賀沼公園駐車場地先 外来水生植物駆除作業

主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会・美しい手賀沼を愛する市民の連合会

美手連では、毎年手賀沼公園地先などで、ナガエツルノゲイトウ（以下、ナガエ）やオオバナミズキンバイ（以下、オオバナ）を駆除しています。私たち市民が駆除することは、手作業でも定期的に駆除することで、ある程度繁茂を抑制できるのではないかと考え活動しています。また、周辺市民への啓発活動になると考えています。

日時：2024年6月29日（日）9:00～11:30

場所：手賀沼公園駐車場地先（ポートセンター小池西側～湖上園）

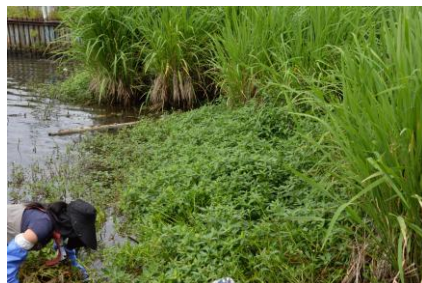
参加：手賀沼流域フォーラム実行委員 10名（手賀沼課 4名、白井市環境課 2名、委員 4名）

登録ボランティア 9名、美手連 4名、一般 5名（県議、柏市議、他 3名） 合計 28名

※写真提供/美手連 田島・川上

作業開始

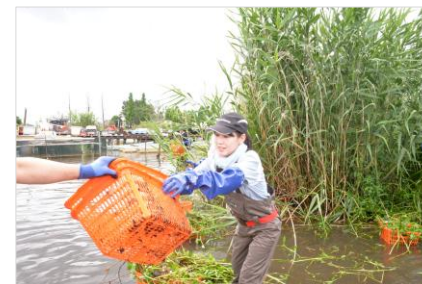
- ◆主な繁茂エリアは、正面のヨシ・マコモの島の周辺と北西角の自販機前のマコモ周辺です。今年、公園歩道側には大きな群落はありませんでした。



ナガエ・オオバナの群落の土を洗い落として、買い物かごに詰め込みます。



買い物かごがいっぱいになったら、陸揚げします。



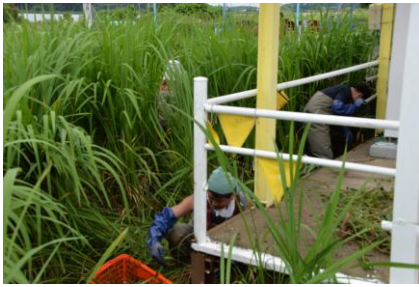
買い物かごを陸揚げ場所に移動する人と引き抜く人と作業を分担したら、ドンドン買い物かごが溜まってきました。待っていましたとばかりに、空いたカゴに手を伸ばし、作業を続けます。

作業中盤



途中から、買い物かごで運ぶだけでなく、効率よく手製のモッコに入れて、一気に引き揚げました。作業中も切れ端を丁寧にタモ網などで回収しました。陸上には、あっという間に大きな山ができました。

作業終盤



ヨシやマコモの中に侵入しているナガエなどを丁寧に引き抜きます。水中班、陸上班総出で袋詰めです。



資材を洗った後は、仕上げに丁寧にサデ網やタモ網でナガエ・オオバナを逃さずキャッチします。

作業終了



80袋 (450ビニール袋)

※今まで使用していたガラ袋はクリーンセンターで破砕機に適さないため、ビニール袋を使用するよう指示があった。ビニール袋の底をパンチで穴を開け水切り対応した。



作業後の様子 ◆すっかりきれいになりました。皆さまお疲れ様でした！

